

ごみの持ち出し

再確認

ごみの持ち出しで、今回は基本となる事柄を確認してみたいと思います。ごみの分別や持ち出しは、日頃から基本を確認しておくことが大切。わかっていると思うことでも、今一度確認しておきましょう。

持ち出しの日は「ごみカレンダー」で確認してください。

燃えるごみ

- 生ごみ（水分をよく切って）
- 紙くず・布類（資源ごみは地域の集団回収へ）
- 草木類（一度に多量はご遠慮ください。基準は一度に2袋まで）
- 長いものは、50cm以下に切ってください。
- ◎必ず当日の午前8時までに、可燃ごみステーションへ。



燃えるごみ

ビン類

飲んだり食べたりするものが入っていたビンだけを色分けする。

- 3色に色分け…無色透明、茶色、その他の色
- ※色分けのポイント：ビンの口部を見て色分け
- 守ってほしい持ち出しのマナー
 - ①キャップはとって
 - ②中身は出して
 - ③さっと洗う



無色透明ビン

茶色ビン

色ビン

青、緑、黒など少しでも色のついているビン

- ◎必ず当日の午前8時までに、不燃ごみステーションへ。

金属類

- ジュースなど中の汚れている空缶は、さっと洗う。
- スプレー缶は使い切ってから穴をあける。
- 長いものは50cm以下に小さくする。
- ◎必ず当日の午後1時までに、不燃ごみステーションへ。



金属類

容器包装プラ

- 商品そのものの容器や包装類で、汚れていないもの。
- 守ってほしい持ち出しマナー
 - ①中身は出して
 - ②汚れをさっと洗って
(汚れが簡単にとれないものは、燃えるごみに)
 - ③透明の指定袋に入れる。

- ◎必ず当日の午後1時までに、可燃ごみステーションへ。



容器包装プラ



ペットボトル

- 守ってほしい持ち出しマナー
 - ①キャップとラベルはとって⇒容器包装プラへ。
 - ②中身は出して
 - ③さっと洗って
 - ④かさを減らして（足で踏みつぶすなど）
 - ⑤透明の指定袋に入れる。

- ◎必ず当日の午後1時までに、可燃ごみステーションへ。



ペットボトル

